稲光会報

第29巻 36号

平成18年7月1日発行
編　集　早稲田大学稲光会
発行者　北原 輝久
題　字　滝口　宏

第2回麻雀の会／ゴルフコンペ開催

■麻雀の会■

去る3月4日金城庵の近くの佐田家で行われ、竹村晃(昭和32年卒)、吉田美佐子(24年卒故吉田茂治氏夫人)、堀猛(28年)慶田浩一(38年)、植竹清(39年)各会員が参加し、竹村会長の連覇を阻止しようと皆張り切り、熱戦が繰り広げられた。

慶田会員が序盤から独走でトップは間違いないと誰もが思っていたが、勝負は終わってみなければわからないもので終盤満貫の取り合いとなり、それまで鳴りを潜めていた植竹会員が最後に満貫で上がり、逆転優勝。商品券(4千円)を獲得した。

麻雀好きの会員はぜひご参加ください。

■ゴルフコンペ■

5月17日東京カントリー倶楽部にて開催、8名の会員が参加。前回最下位の三浦義雄(昭和39年)会員が一念発起して練習に励み、見事に初優勝した。しかも馬券をただ一人的中させ、優勝賞金(商品券7千円)と馬券賞金7千円を獲得し、タダでゴルフが出来、楽しい一日だった。

またベスグロは伊藤茂秀(昭和33年)、北原輝久会員(36年)、近藤征一郎会員(37年)という並みいる強豪を尻目に「物凄い大型新人」こと平野健一会員(52年)が取った。

なおOB、3パット等罰金12，827円が稲光会に寄付された。

関東学連OB会ゴルフコンペ団体戦準優勝を飾る

第13回関東学連OB会ゴルフコンペが6月7日若洲ゴルフリンクス(東京新木場)にて12大学54名が参加して開催された。

稲光会からは金子名誉会長(昭和25年)をはじめ伊藤茂秀(33年)、北原輝久(36年)、慶田浩一(38年)三浦義雄(39年)、植竹清(39年)会員計6名が出場し、上位3名のスコアで争われる団体戦で立教大学に次いで準優勝を成し遂げた。

大型新人の平野健一会員(52年)が出場出来ていれば優勝していたかも?(しかしながら優勝すると幹事役が回って来て大変苦労するので準優勝が一番良いとの声もあった。)

各大学の諸OBと久し振りに会い、語り合った。ゴルフ好きの会員はぜひ来年ご参加ください。

(左から)北原、植竹、黒田、伊藤
三浦、竹村、近藤、平野会

杉山文野会員(H16年)が単行本「ダブルハッピネス」出版

心は「男」、体は「女」の性同一性障害。辛さ、悲しみは2倍だけど2倍楽しいフミノの青春を告白した内容です。

メディアでも多数紹介され、既にご購入されている会員も大勢いらっしゃると思いますが、まだの方は是非ご一読ください。講談社より。1，680円にて。ただいま重版中です!

■訃報■

塚本恵二会員(昭和42年卒)が6月1日敗血症で突然お亡くなりになりました。享年61歳でした。謹んでご冥福をお祈り致します。

OBの近況報告欄

奈々絵が帰ってきました!!

何事にも全力投球の彩楓ちゃん

平成9年卒の本間奈々絵(旧姓　田中)会員が熊本市から松戸市に拠点を移しました。自身の母校である県立松戸高校への勤務も決まり、4月から懐かしの校舎で教鞭をとっているとのことです。引越しのバタバタもすっかり落ち着き、親子3人プラスお腹に1人(!)の生活も軌道にのってきた模様。ご夫婦の愛娘、彩楓(さやか)ちゃんもプレ幼稚園ということで、今後新しい友達が増えていくことでしょう。

育児、仕事と家事との両立…一回り大きくなって帰ってきた奈々絵さんも8月には二あ人目を出産予定です。お腹に赤ちゃんがいるとはびっくりのスレンダーボディでしたが、既に「肝っ玉母さん」の予感を十分漂わせています。

私の趣味

慶田浩一会員(昭38年)

十年ほど前、市の広報を見ていた家内が「こんなものやっているけど行ってみない?」と言って見せたのが、野鳥の会主催の「探鳥会」(野鳥の会では鳥を見に行く会をこう呼ぶ)の案内だった。

そして初めて参加した、近くの印旛沼の探鳥会で見たのが「空飛ぶ宝石」と言われるカワセミだった。「こんな近くにこんな綺麗な鳥がいるのか!!」と病みつきになった。

はじめは身近な鳥を見ていたが、だんだん国内各地に足を伸ばすようになり、昨年は豪州まで見に行った。

豪州野鳥の会の夫妻と沖縄で

そのとき案内してくれた現地の人たちが今年4月に来日し、今度はこちらが奄美、沖縄、三宅島など、日本の各地の鳥を案内して回った。

今まで見た鳥は国内約300種、海外約2000種。数年前からボランティアで近くの小学校の指導も始めた。今後どのように展開していくのか楽しみだ。

早稲田大学創立125周年記念事業募金目標金額125万円達成!

フェンシング部は今年創部60周年だが、稲光会では記念行事に替えて大学の創立125周年記念事業募金に協力することを決定した。竹村晃会長が委員長の募金実行委員会を設立、125周年に因んで目標金額を125万円として16人の委員が各世代毎に募金の呼びかけを行った。厳しい時代にもかかわらず、59名の会員が快く応じて125万円の目標を達成した。

竹村会長等が記念事業募金局を訪問し、加藤理事に目録を手渡した。加藤理事は「体育会のOB会は43あるがまだ10のOB会が募金しているだけなので大変励みになり、感謝している。」と大喜びだった。(写真)

募金された会員名は早稲田学報並びに早稲田大学広報に掲載される。また8万円以上募金された金子誠稲光会名誉会長(昭和25年～125千円)、堀猛会員(28年～80千円)、梅渓秀文会員(29年～100千円)、酒井禧安会員(35年～125千円)は高額寄付者として大隈講堂内の創立125周年記念事業募金寄付者銘板に名前が刻まれ、永く顕彰されることになった。

会長挨拶

竹村　晃会長
(昭32年卒)

諸先輩方におかれましては稲光会ならびに現役部員に対します援助等に格別のご配慮を賜り厚く御礼申し上げます。

本年のリーグ戦の総合成績は男子一部確保、女子は準優勝と現役諸君は大健闘致しました。

昨年に続く好成績で強い早稲田が復活しつつあります。この勢いをさらに続ければ、早稲田の黄金時代が必ず築けると確信しております。

さて今年はフェンシング部創立60周年を迎えますが、記念行事は65周年の平成23年まで延ばし、今年度は早稲田大学創立125周年の募金に専念致しました。お蔭様で諸先輩方のご協力により募金目標の125万円を達成することが出来ました。ここに衷心より厚く御礼申し上げる次第です。

今後とも試合の応援、会員間の相互親睦等を更に積極的に行い、早稲田の黄金時代を築き上げるべく、現役部員のバックアップをより一層致す所存でございます。

先輩各位に於かれましては今後とも稲光会の活動および現役部員へのご支援についてご協力の程くれぐれも宜しくお願い申し上げます。

平成18年度稲光会総会開催

4月6日、稲光会総会が大隈会館に於いて岩淵匡部長をはじめ、会員16名、部員18名(含む新人5名)計34名が出席し、開催された。

昨年度は数年ぶりに黒字決算となり、また平成18年度予算、活動方針、早稲田大学創立125周年記念事業募金、人事、30年ぶりの稲光会規約改定等の案件が審議され、満場一致で可決された。

例年4月の総会はリーグ戦の激励と新人紹介の場でもあるが、今年も男子一部確保、女子総合優勝の力強い決意表明と有望な新人の希望に満ちた自己紹介があり、諸会員の暖かい激励の拍手が起こっていた。

また川名宏美監督が30数年にわたった実技講師を昨年定年で辞められた。その功績を讃え、会員有志がブレザーを贈った。同じく吉田友久会員も40年近く担当されていた稲光会会計幹事を辞められたので感謝状を竹村晃会長が贈呈した。

リーグ戦の優勝を誓い、校歌斉唱してお開きになった。

川名監督へブレザー贈呈

吉田会員へ感謝状贈呈

リーグ戦

女子はサーブル初優勝、男子は3種目5位で、3年連続男女6種目一部の座を堅守！

平成18年度関東学生フェンシングリーグ戦（4月15日、16日、26日～29日）が東京・駒沢屋内球技場で開催された。女子は総合2連覇を逃したがサーブルで初優勝、エペ2位、フルーレ3位で総合2位。男子は3種目とも5位と健闘、久々に入替戦のないリーグ戦となった。

「いくぞ！」試合前、円陣を組んで気合を入れる男子エペ陣

【男子】フルーレは大澤三洋（青山学院高等部）の参加を得て得点能力が高まった。大澤が3～4点稼ぎ、それを増田（4年）、池内（2年）の上級生が守りながら試合を進めていくといった展開が多かったのだ。が、対拓大戦では増田が主将の意地を見せた。最後の3巡目。逃げ切りを図る拓大に対しジリジリと点差をつめ、最終戦の増田が同点としたところでタイムアップ。延長戦開始直後、増田はイチかバチかの勝負に出たのである。素早く相手に走り寄りざまに飛び上がって肩口に剣を振り込む。この間わずか3秒。相手に考えるスキを与えない奇襲策が見事に的中、赤ランプのみが点灯した。これで2勝目。辛くも最下位を免れた。サーブルでは2年生松村広大（富山高校）の成長が著しく、着実にポイントを稼いだ。結果として専大との1勝に終わったが、今後期待できる。最も危ぶまれたエペも下級生が頑張り、2勝を挙げた。3種目とも5位で一部の座を守りきった、この健闘は高く評価して良い。

【女子】サーブルの快進撃が見事だった。緒戦、日女体大を45―17の大差で破り波に乗った。続く日体大、東女体大、専大に3連勝。4年生の島田（スポーツ）、森（一文）が共に好調で、最初の一巡に早くも7～8ポイントリードする展開。最後の日大戦では苦戦したものの、全体に伸々した動きで、積極的に勝負を仕掛けたのが成功していた。

反対に、優勝候補の筆頭に挙げられていたフルーレは動きがぎこちなく、持てる力の半分程しか出せない試合が多かった。唯一の例外は優勝校専大との一戦。1巡目は吉澤（教育4）3―0、松木（スポーツ3）2―3、森3―2と僅差のリード。選手達は落ち着いており、2巡目以降も3人が力を合わせてポイントを守り、終盤、専大の焦りを誘い出して突き放した。リレー戦の理想的な試合展開見せてくれた素晴らしい一戦だった。エペは新人の坂野（米沢東高）が期待以上の働きをしてくれた事もあって予想外の2位となった。（監督　川名宏美）

川名全連会長より女子サーブル優勝の表彰を受ける島田夏子（右）

閉会式でフルーレ3位の表彰を受ける女子部主将　吉澤千恵

種目別順位

男子	フルーレ	エペ	サーブル
優勝	法政大	中央大	中央大
2位	中央大	日体大	法政大
3位	拓殖大	専修大	日本大
4位	専修大	日本大	日体大
5位	早稲田	早稲田	早稲田
6位	日体大	法政大	専修大

女子	フルーレ	エペ	サーブル
優勝	専修大	日体大	早稲田
2位	日体大	早稲田	日本大
3位	早稲田	専修大	日体大
4位	日本大	日本大	専修大
5位	法政大	東女体	東女体
6位	東女体	日女体	日女体

総合順位

総合順位	男子	女子
優勝	中央大	日体大
2位	法政大	早稲田
3位	日体大	専修大
4位	専修大	日本大
5位	早稲田	東女体
6位	日本大	日女体

各試合結果

男子フルーレ（一部）
- ●早稲田 32―45 日体大○
- ●早稲田 40―45 日本大○
- ○早稲田 45―41 専修大●
- ●早稲田 43―45 法政大○
- ●早稲田 44―45 中央大○

男子エペ（一部）
- ●早稲田 29―45 専修大○
- ●早稲田 22―45 法政大○
- ○早稲田 37―36 拓殖大●
- ●早稲田 31―45 中央大○
- ○早稲田 45―38 日体大●

男子サーブル（一部）
- ○早稲田 45―40 専修大○
- ●早稲田 35―45 日体大○
- ○早稲田 39―38 法政大●
- ●早稲田 42―45 日本大○
- ●早稲田 31―45 中央大○

女子フルーレ（一部）
- ○早稲田 45―44 日本大●
- ○早稲田 45―42 専修大●
- ○早稲田 45―28 東女体●
- ○早稲田 45―35 日体大●
- ○早稲田 45―17 日女大●

女子エペ（一部）
- ●早稲田 29―37 日本大○
- ○早稲田 21―43 東女体●
- ○早稲田 28―36 専修大●
- ○早稲田 40―43 法政大●
- ●早稲田 33―28 日体大○

女子サーブル（一部）
- ●早稲田 29―45 日体大○
- ○早稲田 45―44 東女体●
- ○早稲田 45―27 日女体●
- ●早稲田 26―25 専修大○
- ○早稲田 26―21 日本大●

王座

王座は2種目（エペ、サーブル）とも準優勝でした

第56回全日本王座決定戦（6月3日～4日、中大）

エペは主力の吉沢千恵（教育4）が教育実習のため参加できず、サーブル陣の島田夏子（スポーツ4）が急遽出場という苦しいやりくり。戸田志帆（スポーツ2）、坂野友里（スポーツ1）の下級生がよく頑張り、なんとか準決勝はしのいだ。が、決勝戦では、立ち上がりにリードされ、終始追いかける展開となった。こうなると焦りからミスを連発する悪い面が出てしまい、優勝のチャンスがあったものの、自滅してしまった。

サーブル決勝戦は関東同士の対決。リーグ戦では勝った相手だが、やはり実力では日大の方が一枚上。後半に入って一気に突き放されてしまった。

女子エペ
- 準決勝 ○早稲田 45―31 朝日大●
- 決勝 ●早稲田 37―45 同大○

女子サーブル
- 準決勝 ○早稲田 45―35 朝日大●
- 決勝 ●早稲田 31―45 日大○

新人紹介

～今年の新人の顔です～

①出身高校②学部③入学方式④主な競技歴⑤コメント

大澤　三洋（おおさわ　みつひろ）
①青山学院高等部②スポーツ科学部③スポーツ推薦④05年高校総体5位（フルーレ）、国体少年男子の部優勝⑤フルーレで王座決定戦に出て勝ちたいです。

澤田　昂太郎（さわだ　こうたろう）
①県立青森高校②理工学部③指定校推薦④04年JOC杯ベスト16（フルーレ）⑤サーブルで世界の檜舞台へ。

橋脇　和史（はしわき　かずし）
①福井県立藤島高校②スポーツ科学部③一般入試④04年JOC杯優勝（エペ）⑤エペでもう一度結果を出したい。

坂野　友里（さかの　ゆり）
①県立米沢東高校②スポーツ科学部③スポーツ推薦④05年高校総体優勝（エペ）⑤エペを十分に楽しみたい。

扇　由紀子（おおぎ　ゆきこ）
①県立新潟高校②スポーツ科学部③一般入試④05年高校総体6位（フルーレ）⑤ユニフォームの背中にJPNと入れたいです。

合宿へようこそ

06年度夏季合宿は左記要領で実施されます。
OBの皆さん、奮ってご参加下さい。
もちろん視察でも結構です！

一、期日　06年9月4日(月)～12日(火)
一、場所　〒949-6103
新潟県南魚沼郡湯沢町中里5172
湯沢中里　上越ホテル
TEL 0257-87-3009
FAX 0257-87-3691
一、日程
- 9月4日(月)　移動日(現地)
- 9月5日(火)～7日(木)　前半練習日
- 9月8日(金)　中日
- 9月9日(土)～11日(月)　後半練習日
- 9月12日(火)　移動日(帰京)

一、問合せ　03－3203－8605(部室)

試合の応援に行こう！

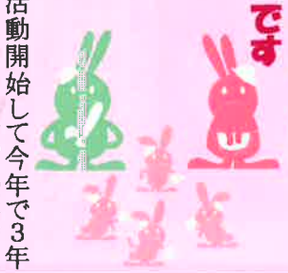
ぜひ観戦し、現役を応援してください。

●関東学生新人戦(駒沢屋内球技場※)
9月28日(木)、29日(金)
試合開始　10:00～

●関東学生選手権(駒沢屋内球技場※)
10月5日(木)、12日(木)、13日(金)
19日(木)、20日(金)
試合開始　10:00～

※駒沢屋内球技場
東急田園都市線駒澤大学前より
徒歩15分

こんにちは！ワセダクラブです



活動開始して今年で3年目になります。現在会員数は幼稚園1名、小学生14名(内、女子6名)、中学生11名(4名)、高校生1名、母親1名で、計28名にふくれあがりました。毎週日曜日に練習に参加するのは20名前後ですが、皆週1回の練習を楽しみにしているようで、元気一杯動き回っています。3年目に入ったので、今年から「試合に勝てるフェンシング」を意識して指導しています。

今春、ワセダクラブの活動に共鳴し複数の有力選手が移籍してきました。これら実践豊富な選手を先頭にワセダクラブの実力を高めていきます。

会員の皆さま、是非ワセダクラブに足を運んでください。

また、お子さんやお孫さんの参加も大歓迎です。